



写真撮影：川辺 明伸

名称	CLT長浜車庫バス停待合所		
竣工	2017年3月		
延べ床面積	9.92m ²		
使用したCLT	2.77m ³		
CLT利用部分	壁、屋根		
CLTサイズ	壁：150 × 900 × 2,000mm、屋根：120 × 1,960 × 4,090mm		
構造	木造（壁式構造CLT利用）	設計ルート	該当ルートなし
防耐火	その他		
用途	路線バスの停留所の上屋		
所在地	高知県高知市長浜771		
設計	（意匠）（有）建築設計群 無垢 （構造）桜設計集団一級建築士事務所		
施工	四国プレコン(株)		
特長	CLTによる耐力壁と屋根版を組合せフレーム構成。耐力壁のコンクリート基礎、屋根版との接合はGIR接合とする事で金物をCLT内部に納めている。		



写真提供：秋田中央交通(株)

名称	県庁市役所前バス待合所		
竣工	2016年8月	階数	
面積	(建築) 29.9m ² (延床) 29.9m ²		
CLT利用部分	つり下げ板（ルーバー）、ベンチ座面、ベンチ背板、ベンチ間仕切り、時刻表背板	使用したCLT	2.063m ³
CLTサイズ	(最大) 幅1300 x 長2675 x 厚36 mm ※幅1300は650幅2枚をジョイント		
構造	鉄骨造（CLT利用）	設計ルート	該当ルートなし
用途	バス待合所	防耐火要件	その他
所在地	秋田県秋田市山王4丁目1－1		
設計	納谷建築設計事務所		
施工	中田建設（株）		
特長	平成28年度CLT等新技术普及促進事業として、秋田県からの補助金で秋田県産杉を使用し、既存設備をリノベーションしました。		



写真撮影：谷岡龍哉

名称	岡山県森林組合連合会勝山支所		
竣工	2020年2月	階数	地上1階
面積	(建築) 176.00m ² (延床) 141.50m ²		
CLT利用部分	飾り柱	使用したCLT	2.5m ³
CLTサイズ	(最大) 240 x5000 x850 mm		
構造	木造 (軸組工法CLT利用)	設計ルート	ルート1
用途	事務所	防耐火要件	22条地域/その他
所在地	岡山県真庭市勝山1884-6		
設計	意匠：谷岡建築設計事務所+真庭設計連合協同組合 構造：(株)ADO建築設計事務所		
施工	鳥越工業(株)		
特長	在来工法の建物にアクセントとして斜めのCLTを設置しています。 構造材、仕上げ材ともに岡山県産の認証材をふんだんに使い、暖かい安らぎを感じる室内空間としています。		



写真撮影：谷岡龍哉

名称	米来幼稚園保育室		
竣工	2021年3月	階数	地上1階
面積	(建築) 77.75m ² (延床) 74.03m ²		
CLT利用部分	壁	使用したCLT	10.50m ³
CLTサイズ	(最大) 90 x2000 x4000 mm		
構造	CLTパネル工法	設計ルート	ルート2
用途	保育室	防耐火要件	22条地域/その他
所在地	岡山県真庭市目木1804		
設計	意匠：谷岡建築設計事務所 構造：(有)西建築設計事務所		
施工	鳥越工業(株)		
特長	真庭市の米来幼稚園にCLTを使って増築された保育室です。 コーナー以外の外壁CLTを体力壁とし、ルート2の設計で屋根は在来工法としています。 壁の隅を丸く取り、屋根も丸く葺き、柔らかくあたたかみのあるイメージになりました。 三歳児用の可愛い便器に頬が緩みます		



写真撮影：谷岡龍哉

名称	岡山県森林組合連合会本会事務所		
竣工	2021年5月	階数	地上1階
面積	(建築) 477.86m ² (延床) 430.61m ²		
CLT利用部分	飾り柱、ハネ出し庇	使用したCLT	2.5m ³
CLTサイズ	(最大) 120 x4800 x2000 mm		
構造	木造 (軸組工法CLT利用)	設計ルート	ルート1
用途	事務所	防耐火要件	22条地域/その他
所在地	岡山県岡山市櫛津485		
設計	意匠：谷岡建築設計事務所+真庭設計連合協同組合 構造：(株)ADO建築設計事務所		
施工	鳥越工業(株)		
特長	在来工法の建物ですが、飾り柱とエントランスのハネ出しの庇にCLTを使っています。構造材、仕上げ材ともに岡山県産の認証材をふんだんに使い、暖かい安らぎを感じる室内空間としています。事務室は屋根をトラス構造とし、開放的な大きな空間を実現させています。		



写真提供：澤田建設(株)

名称	澤田建設(株) CLT KAZAGURUMAキャンパス		
竣工	2021年3月	階数	地上2階
面積	(建築) 141.61m ² (延床) 141.58m ²		
CLT利用部分	壁、床、屋根、階段	使用したCLT	140.07m ³
CLTサイズ	(最大) 2,500 x 11,500 x 210 mm		
構造	CLTパネル工法	設計ルート	ルート1
用途	事務所	防耐火要件	75分準耐火建築物
所在地	山口県防府市駅南町 4 - 5		
設計	(有)和建築設計事務所		
施工	澤田建設(株)		
特長	平成30年の建築基準法改正で、延焼防止時間という考え方が導入され準耐火構造である燃えしろ設計が可能になり、内部で木材を見せる事が出来るようになった全国初の防火地域における延焼防止建築物である。見どころは内部現し。特に2階は天井高4.5mで広々とした空間である。		



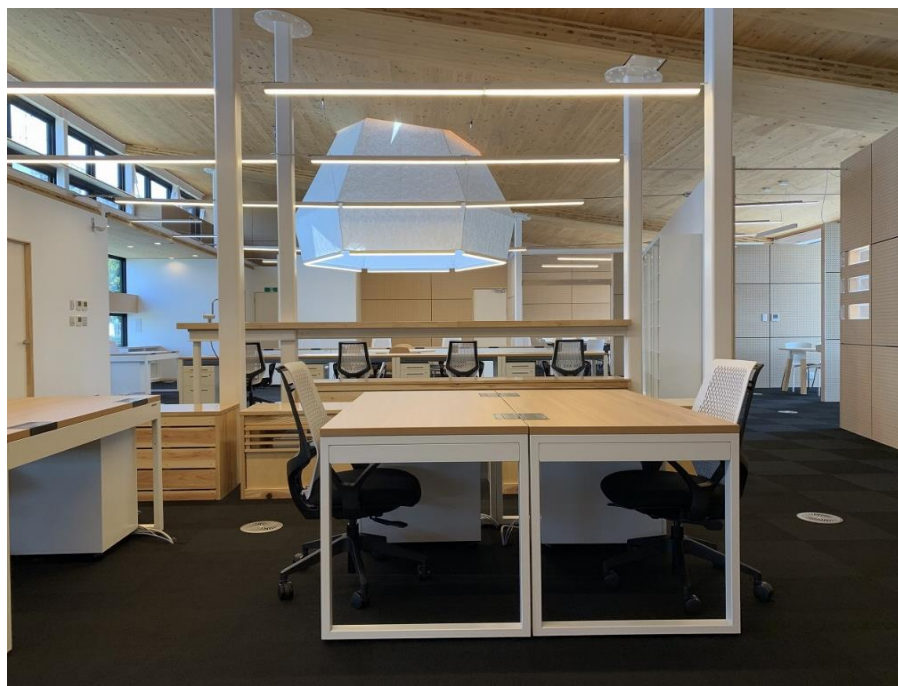
写真撮影:ACプロ

名称	南予森林組合事務所					
竣工	2021年3月	階数	地上2階	階	最高の高さ	9530 mm
建築面積	611.22 m ²	延床面積	772.11 m ²		軒の高さ	8200 mm
CLT利用部分	屋根、壁、床(天井)	使用したCLT	146.39 m ²		用途	事務所・庁舎
CLTサイズ	(最大) 巾 1500mm x 長さ 12000mm x 厚さ 150 mm					
構造	木造軸組工法(CLT利用)		防耐火要件		防火構造	
ルート種類	①木造計算ルート		ルート詳細		ルート1	
所在地	愛媛県北宇和郡鬼北町大字奈良4073-7					
意匠設計	新企画設計(株)、(株)SUEP		構造設計		(有)金箱構造設計事務所	
施工	愛媛建設(株)	確認審査機関	愛媛県南予地方局		適合性判定機関	－
特長	単一のボルト屋根では力の流れが1方向ですが、本建物の連続円筒シェル構造は2方向に力が流れる構造であり、CLT板の2方向性を持つという特性が良く発揮できる構造形式です。 この構造形式では、下部構造において円筒シェル境界部分に最小限の耐力壁が必要となりますが、その部に高耐力のCLT耐力壁を配置することで、連続円筒シェルの下部を開放的な空間とすることができました。					



写真提供：(株)筑紫工業

名称	筑紫工業新社屋新築工事					
竣工	2021年3月	階数	地上3階	階	最高の高さ	11750 mm
建築面積	206.08 m ²	延床面積	592.80 m ²		軒の高さ	11300 mm
CLT利用部分	床、壁、屋根、階段	使用したCLT		m ²	用途	事務所・庁舎
CLTサイズ	(最大) 巾 2380mm x 長さ 8000mm x 厚さ 210 mm					
構造	CLTパネル工法		防耐火要件		準耐火構造	
ルート種類	②611号CLT計算ルート		ルート詳細		ルート2	
所在地	福岡県那珂川市片縄東1-26-19					
意匠設計	(株)ブルク		構造設計		(有)祥構造事務所・(株)木講堂	
施工	(株)大匠建設	確認審査機関	日本ERI		適合性判定機関	日本ERI
特長	九州では初めてとなるルート2の構造計算を行ったC L T 3階建て事務所建築物で、燃えしろ設計を行い45分準耐火建築物とした。燃えしろ設計をすることでC L T パネルを化粧とし、木の温もりを表現している。将来リサイクルできるように、全パネルの建て方順を整理し、現場とB I Mデータ共に同じ番号をつける事でパネル情報の管理ができるようにした。					



写真提供：中村勉総合計画事務所

名称	イーテクノ株式会社					
竣工	2019年8月	階数	地上1階	階	最高の高さ	5540 mm
建築面積	492.02 m ²	延床面積	444.58 m ²		軒の高さ	5055 mm
CLT利用部分	屋根、天井	使用したCLT	89.7 m ²		用途	事務所・庁舎
構造	S造(CLT利用)		防耐火要件		その他	
ルート種類	③RC造・S造計算ルート		ルート詳細		ルート1	
所在地	埼玉県熊谷市太井37-6					
意匠設計	中村勉総合計画事務所		構造設計		松本構造設計室	
施工	サイカン工業(株)+イーテクノ(株)	確認審査機関	ピューローベリタスジャパン(株)		適合性判定機関	

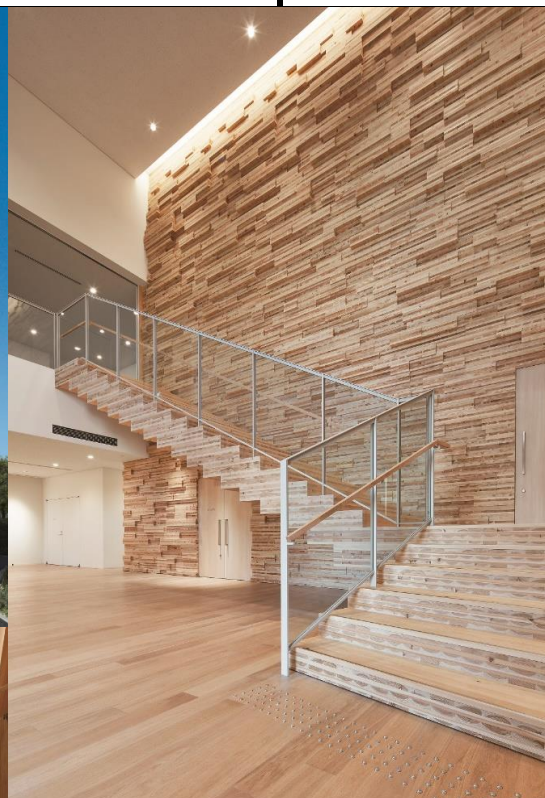
特長

・行田市発祥の電気工事会社イーテクノ株式会社の本社屋として、CLTを利用した、ZEB・OFF-GRIDオフィスが熊谷市の流通センター内に完成した。・従業員約20名、2010年以降は太陽光発電工事などに積極的に参加している会社である。■建築概要：事務所(CLT構造)棟320m²、書庫・倉庫(鉄骨造)棟125m²、計445m²■構造概要：事務所棟：コンクリート直接基礎、地中梁の上に150角形鋼管柱を自立させ、屋根を210mm厚のCLT梁・スラブ構造とした。水平力は外周壁鉄骨ブレースが担う。■空間と機能：・ワンルームの執務空間に南入り口部に営業、打合せスペースを配置し、人の動きは2枚の壁の合わせ部から扉なしで有機的に連続している。・オフィスは管理事務と作業室に分かれ、管理職以下は現場が多く、積算やCAD作業は中央のアドレスフリー機で行われる。・自由な執務空間が単純な一枚のCLT木(パネル1寸5分勾配)で覆われ、ワンルーム空間を作っている。■ZEB性能・OFF-GRIDオフィス・全体の熱効率UA値は0.54W/m²K。一次エネルギー消費量は501.92GJ/年。・屋根はCLTとスタイロエースⅡ65mm外断熱により、U値0.23W/m²Kを確保。・外壁は鉄骨フレームの中にGW24kg100mm充填断熱とスタイロエースⅡ35mm外断熱によりU値0.25W/m²Kを確保。・内装壁は、充填グラスウールに有孔MDFや杉板目透かし張りとして木室空間をつくり、吸音性能も確保した。・開口部は、南面を採光と冬季のダイレクトゲインを得るため、高さ2.7m、幅22.5mの木製ペアガラスサッシの全面開口とした。・夏季での日射遮蔽として、深い軒と木製ルーバーを配置。冷房期平均日射熱取得率ηAC値1.6%を達成した。・1寸5分勾配屋根に太陽光発電システム(65KW)搭載し、約71,000kwh/年を獲得、一次エネルギー消費50,250kwh/年をカバーし、ZEBを達成した。・蓄電池(12kwhx2台)を加え、オフグリッドオフィスとして地域の防災等に貢献します。■北窓と天窓・事務所ビルの平均照明エネルギー約25%を削減するために、北窓と天窓からの自然採光を利用している。・北窓は、北壁(5.5m²)の一部を木製ペアガラスサッシとし、上部に天空光を反射するライトシェルフをつけ、曇天で北側採光1500lxを確保した。・天窓は、大屋根の中央部にトップライトを設け、室内に大きなシェードを設置し、曇天で2500lxを確保した。この大きなシェードは執務室空間に中心をつくり、内部にいて太陽高度の変化による時間、季節の移り変わりも感じられる。■床下空調と排気熱チャンパー・空気調和設備は、マルチエアコン(壁掛けエアコン)を直接OAフロア内へ吹くことで床下空調をダクトレスで実現した。・外部新鮮空気を排気とパッシブ熱交換装置として、上部レタランチャンパー内と床下排気チャンパーを設置、排気熱で新鮮空気に温めている。熱交換後の新鮮空気は床下に吹き込み、換気による熱効率を高めています。温度交換効率73%を達成。■ローコスト・CLT補助金を利用し、超ローコストを達成した大きな要因は、躯体性能を高めながら、空調・照明の設備コストを省略できたことなど、ZEB建築・OFF-GRIDオフィスのモデルとなる。



写真提供：(株)三栄工業所

名称	株式会社三栄工業所 新社屋					
竣工	2021年9月	階数	地上3 階	最高の高さ	10,910	mm
建築面積	344.69 m ²	延床面積	987.02 m ²	軒の高さ	10,621	mm
CLT利用部分	屋根、壁、内部階段	使用したCLT	126.14 m ²	用途	事務所・庁舎	
CLTサイズ	(最大) 巾 1,820mm x 長さ 8,565mm x 厚さ 120 mm					
構造	CLTパネル工法		防耐火要件	その他		
ルート種類	②611号CLT計算ルート		ルート詳細	ルート2		
所在地	岩手県大船渡市赤崎町字普金10-5					
意匠設計	松本設計ホールディングス(株)		構造設計	ジャパン建材(株)一級建築士事務所 (株)木質環境建築		
施工	(株)三栄工業所	確認審査機関	ビューロー・パブリタスジャパン(株)	適合性判定機関	—	
特長	3 階建ての事務所建築に 120 mm厚の CLT 壁パネル、屋根パネルを適用すること により、住宅用建具等の利用も併せて全体的なコスト削減を試みた。リブ付 CLT 屋根パネルは 利用において、長手方向に約 6m スパンで計画。CLT エレベーターシャフトは木造建築の業務用エレベーターの計 画において、シャフトに別途鉄骨軸材の設置が不要であり、シャフト面積及びコスト削減に よる有効利用方法を示した。またCLT階段は大きな板 から曲線的に切り出した形状美を見せたいと考え、らせん階段 とした。					



写真提供：前田建設・住友林業共同企業体

名称	桐朋学園宗次ホール							
竣工	2021年3月	階数	地上3階 地下1階	階	最高の高さ	13.498	mm	
建築面積	1314.15	m ²	延床面積	2354.72	m ²	軒の高さ	13.433	mm
CLT利用部分	屋根、壁	使用したCLT	148	m ²	用途	教育施設		
CLTサイズ	(最大) 巾 1,150mm x 長さ 12,000mm x 厚さ 150 mm (折板梁は縦継ぎ17.4m)							
構造	木造軸組工法(CLT利用)		防耐火要件		耐火構造			
ルート種類	①木造計算ルート		ルート詳細		ルート2			
所在地	東京都調布市若葉町1-41-1							
意匠設計	隈研吾建築都市設計事務所 (基本設計・デザイン監修) 前田建設・住友林業共同企業体(実施設計)		構造設計		ホルツストラ(基本設計・構造監修) 前田建設・住友林業共同企業体(実施設計)			
施工	前田建設・住友林業共同企業体	確認審査機関	日本ERI		適合性判定機関	-		
特長	昭和26年の通達を適用し教室棟を耐火構造、音楽ホールを準耐火構造としてCLTを意匠デザイン・構造・音響に利用した大学及び音楽ホール。音楽ホールの梁は折板形状の複合梁として、構造用集成材の梁の下端面にヒノキ・スギハイブリッドCLT5層5プライを30度の角度で折板状に配置、上端面には構造用合板24 ^{3/4} mm厚を配置、長さ方向は現場で鋼板添え板接合とし、17 ^{1/2} mのスパンを実現。CLTは燃えしろ層を有する被覆材としての機能の他、「柱」では座屈拘束、「梁」ではたわみ抑制にも寄与(壁のCLTは3層4プライ)。							